

はじめに

このたびは、弊社のDVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット (FMV-NCB52) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット（以降、本製品）の基本的な取り扱い方と、CD-R/RW 用アプリケーション「Sonic RecordNow!」およびDVD ディスクの再生を行うアプリケーション「WinDVD」について説明しています。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2005 年 9 月

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は、高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品です。

お気をつけください

個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」といいます）を目的とする場合を除き、あなたが著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製することは著作権法で禁じられまた、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■コマンド入力（キー入力）

本製品のドライブ名を「[CD/DVD ドライブ]」で表記しています。入力の際はお使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

例：[CD/DVD ドライブ]:\\$setup.exe

・上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やディスク、データの種類によって、実際に表示されている画面やイラストおよびファイル名などが異なることがあります。また、本書に表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

また、本文中の操作手順において、操作手順の類似しているものは、あわせて記述しています。

例：「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記			
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional	Windows XP	Windows ^注	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition			
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000			
RecordNow Version7	RecordNow			
WinDVD™ 5	WinDVD			

注：Windows XP/2000 のように併記する場合があります。

■ 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

△ 注意

-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
-  振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が落ちて、けがの原因となります。
-  AC アダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。

DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット (FMV-NCB52)



- ・電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ヘッドホンやイヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



- ・ひび割れ、変形したディスクは使わないでください。
高速回転しますので、ディスクが飛び散って故障やけがの原因になることがあります。
接着剤などで補修したディスクも同様に使用しないでください。



- ・コネクタ端子に触れないでください。
本製品やパソコン本体の故障の原因になることがあります。



- ・本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



- ・衝撃や振動を与えないでください。
故障の原因になることがあります。



- ・AC アダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。



- ・AC アダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまつたままの状態で使用すると火災の原因となります。



- ・電源ケーブルは壁のコンセントに直接接続してください。
延長ケーブルなどを使用すると、火災の原因となることがあります。

■ レーザーの安全性について

本製品は、レーザーを使用しています。

クラス 1 レーザー製品

本製品は、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則 (DHHS 21 CFR) Subchapter J に準拠しています。また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である (IEC 60825-1)、CENELEC 規格 (EN 60825-1) および、JIS 規格 (JISC6802) に準拠しています。

⚠ 注意



- お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。



- 本装置は、レーザー光線を遮断する安全な構造になっていますが、分解したり修理・改造したことで、レーザー光線が装置外にもれて目に照射され、視力障害の原因となります。修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

- 本装置は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。

レーザー光線が目に照射されると視力障害の原因になります。

■ 免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中止・記憶内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 不適切な接続、および取り扱いにより生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
- 重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態でバックアップ（複製）を行ってください。

エンドユーザーライセンス契約書

本契約書は、お客様と富士通株式会社との間の契約書です。

添付されているソフトウェアプログラム（本ソフトウェアといいます）の袋を開封する前に、この契約の条件を十分にご確認ください。袋を開封されると、お客様はこの契約に同意したことになります。お客様がこの契約に同意できない場合には、未開封のままの袋と共に購入いただいた DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット (FMV-NCB52) 一式をご購入元へ返品ください。お支払い済の購入代金を返却致します。ただし、袋を開封されたり、部品を遺失されると、購入代金は返却致しかねますので、ご了承ください。

1. 著作権

弊社は、パナソニックコミュニケーションズ株式会社あるいはその許諾者（許諾者と総称します）が著作権を有する本ソフトウェアに関し、お客様へのライセンスに必要な権利の許諾を受けております。

DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット (FMV-NCB52) 一式の購入により、お客様にはこの契約中で許諾される以外は何らの権利も発生せず、それらの権利のすべては許諾者あるいは弊社に帰属します。

2. 使用条件

- お客様は、1台のコンピューター上でのみ本ソフトウェアを使用することができます。ネットワークで使用するために、ネットワークサーバーに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されません。
- お客様は、本ソフトウェアあるいは付属する印刷物を複製したり、第三者にその許諾をすることはできません。ただし、(a) バックアップ用あるいは保管用として必要な本数、本ソフトウェアをコピーすること、および (b) お客様が本ソフトウェアのオリジナルをバックアップ用あるいは保管用とすることを条件として、1台のコンピューターのハードディスクに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されます。
- お客様は、本ソフトウェアを第三者に貸したり、リースすることはできません。ただし、お客様がこの契約書と共に本ソフトウェアのすべてのコピー、付属する印刷物並びに DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット (FMV-NCB52) 一式を同時に譲渡し、譲渡を受ける方がこの契約の条件に同意した場合に限り、この契約に基づくお客様の権利を譲渡することはできます。
- お客様は、本ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルあるいは逆アセンブルしてはなりません。
- お客様は、この使用条件に規定された場合を除き、本ソフトウェアの全部あるいはその一部を使用、複製、修正、変更あるいは譲渡してはなりません。
- 本契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明書となりますので大切に保管してください。

3. 契約期間

お客様は、いつでも、本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄することでこの契約を終結することができます。また、お客様がこの契約書の条件に違反した場合にも、この契約は終結します。この場合、お客様は本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破壊していただくものとします。

4. 保証

- 弊社（その許諾者を含む）は、お客様あるいは他の第三者に対して、一切の明示あるいは黙示の保証を行いません。また本ソフトウェアの機能がお客様の要求に合致していることも、本ソフトウェアに欠陥がないことも一切保証致しません。
- 弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できなかったことから生じる偶発的あるいは間接的な損害、または受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。上述の制限は、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因、訴訟形態のいかんにかかわらず、また当事者がこのような損害の可能性を連絡されていた場合であっても同様に適用されます。

■ 商標および著作権について

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標および登録商標です。

Pentium は、米国インテル社の登録商標です。

Photo CD は米国 Eastman Kodak Company の登録商標です。

Phoenix は Phoenix Technologies Ltd. の商標です。

WinDVD は InterVideo Incorporated の商標です。

SmoothLink は松下電器産業株式会社の登録商標です。

Sonic RecordNow は、米国 Sonic Solutions の登録商標です。

その他、各社名および各商品名は各社の商標または登録商標です。

本書の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

All Rights Reserved, Copyright. FUJITSU LIMITED 2005

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

目次

はじめに	1
本書の表記	2

第1章 概要

1 概要	10
特長	10
梱包物の確認	10
AC アダプタについて	11
本製品付属のソフトウェア	11
本製品をご使用いただくための手順とながれ	11
使用できるディスク	12
2 各部の名称と働き	16
3 対応 USB の確認	18
4 パソコン本体への接続	19
本体と USB ケーブルの接続	19
USB ケーブルの取り外し	20
5 ディスクのセット／取り出し	21
ディスクのセット	21
ディスクの取り出し	22
ディスクが取り出せないときは	23

第2章 UDF リーダをインストールする (Windows2000 のみ)

1 UDF リーダについて	26
2 UDF リーダをインストールする	27

第3章 RecordNow をインストールする

1 RecordNow について	30
2 RecordNow をインストールする	31
インストール	31
RecordNow の使い方	31
CD-R/RW ディスクにデータを書き込む	32

第4章 WinDVD をインストールする

1 WinDVD のインストール	34
2 WinDVD の使い方	35
WinDVD を起動する	35
WinDVD を終了する	36
3 再生可能地域コード (リージョンコード) について	37

第5章 付録

1 ドライブの取り扱い	40
2 お手入れについて	42
3 こんなときには	43
4 こんな疑問や質問があったら	46
お問い合わせ先	50
5 リサイクルについて	51
6 用語集	52
7 仕様	55

1

第1章

概要

1 概要	10
2 各部の名称と働き	16
4 パソコン本体への接続	19
5 ディスクのセット／取り出し	21

1 概要

特長

CD-R/RW ディスクを使う

付属の RecordNow (→ P.29) を使用して、データや音楽ディスクの作成ができます。

映像を再生する

付属の WinDVD (→ P.33) を使用して、DVD-Video や Video CD などが再生できます。

DVD-ROM/CD-ROM ディスクを使う

DVD/CD-ROM の使用方法については、それぞれの DVD/CD-ROM (アプリケーション) に付属の説明書や Readme ファイルなどをご覧ください。

音楽 CD を再生する

本製品で音楽 CD を再生するには、パソコンのデジタル再生が「有効」に設定されている必要があります。音楽 CD をパソコンに接続されたスピーカーやパソコン内蔵のスピーカーから音楽を聞くことができます (詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください)。

梱包物の確認

- ・ DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット
- ・ ソフトウェア CD-ROM (CD の内容…UDF リーダ、Sonic RecordNow!、WinDVD 5)
- ・ AC アダプタ／電源コード
- ・ USB ケーブル
- ・ 保証書
- ・ 取扱説明書 (本書)

お使いになる前に、上記のものが梱包されていることをお確かめください。

万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

※ 重要

▶ 保証書について

保証書に必要な事項が記入されているか、お確かめください。お買い上げ時に正しく記載されていない場合は、保証書が無効となり無償保証を受けられないことがありますので、十分ご注意ください。記載内容が不十分でしたら、速やかにご購入元にご連絡ください。保証書は大切に保管しておいてください。

AC アダプタについて

必ず添付の AC アダプタ (UJDB360PS2) をご使用ください。

本製品付属のソフトウェア

本製品には、以下のソフトウェアが付属されています。ドライバソフトは本製品を使用するのに必要なソフトです。必ずインストールしてください。

■ UDF リーダ

UDF 2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクの読み込みを行うためのドライバです (DVD レコーダーなどで録画された DVD-RAM ディスクは UDF 2.0 形式が採用されています)。Windows2000 でお使いの場合はインストールが必要です。付属の CD-ROM からインストールしてください。

POINT

▶ UDF1.5形式でフォーマットされたディスクは、Windowsの標準リーダで読み込むことができます。

■ アプリケーション

アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。

- ・ 映像再生ソフト : WinDVD (→ P.33)
- ・ CD-R/CD-RW 書き込みソフト
 - ライティングソフト : RecordNow (→ P.30)
 - パケット記録ソフト : DLA (Web からダウンロード) (→ P.30)

本製品をご使用いただくための手順とながれ

■ Windows XP の場合

- 1 対応 USB の確認 (→ P.18)
- 2 アプリケーションを使う
 - ・ RecordNow (→ P.30)
 - ・ WinDVD (→ P.33)

■ Windows 2000 の場合

- 1 対応 USB の確認 (→ P.18)
- 2 UDF リーダのインストール (→ P.27)
- 3 アプリケーションを使う
 - ・ RecordNow (→ P.30)
 - ・ WinDVD (→ P.33)

使用できるディスク

- 次のマークのついたディスク

ディスクの種類		読み込み	書き込み	書き換え
CD-ROM		○	×	×
CD-ROM XA		○	×	×
CD-DA (音楽 CD)		○	×	×
Video CD		○	×	×
CD-EXTRA		○	×	×
CD TEXT ^{注1}		○	×	×
Photo CD ^{注2}		○	×	×
CD-R		○	○	×
CD-RW	  	○	○	○
DVD-Video ^{注3}		○	×	×

DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット (FMV-NCB52)

ディスクの種類		読み込み	書き込み	書き換え
DVD-ROM		○	×	×
DVD-RAM ^{注4}		○	×	×
DVD-R		○	×	×
DVD-RW		○	×	×
DVD+R		○	×	×
DVD+R DL		○	×	×
DVD+RW		○	×	×

注1：付属アプリケーションを使用することにより、再生が可能です。

注2：使用時には市販の専用ソフトが必要です。

注3：再生可能なDVD-Videoは、リージョンコードが「2」か、「ALL」と書かれているディスクです。
リージョンコードが異なる場合は設定の変更が必要です。リージョンコードの変更は4回までで、最後に設定したリージョンコードに固定されます。

注4：DVD-RAMの再生は、カートリッジから取り出し可能なメディア、またはカートリッジがないメディアに限ります。

- 本製品に使用するディスクは、以下のものを推奨します。

ディスク	メーカー
CD-R	太陽誘電(株)、(株)リコー、三菱化学メディア(株)、 日立マクセル(株)
CD-RW	三菱化学メディア(株)、富士通サプライ品
High Speed CD-RW	三菱化学メディア(株)
Ultra Speed CD-RW	三菱化学メディア(株)

富士通サプライ用品については、以下にお問い合わせ下さい。

富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター

0120-505-279

9:00～17:30 (土曜・日曜・祝日・年末年始除く)

<http://jp.fujitsu.com/coworco/>

■ DVD-RAM ディスクについて

- ・DVD-RAM ディスクは、「記録できる DVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。
- DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。
 - TYPE1：カートリッジからのディスクの取り出しができません。
 - TYPE2：片面のディスクで、カートリッジからディスクの取り出しができます。
 - TYPE4：両面のディスクで、カートリッジからディスクの取り出しができます。
 - カートリッジなし
- ・本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。また TYPE1 はご使用できませんのでご注意ください。

本製品では読み込みのみ対応しています。

△ 重要

- ▶ ディスクをお使いになるときは、次の点に注意してください。
 - ・ケースから取り出すときやパソコンにセットするときなど、ディスクは両面とも触れないようにしてください。
 - ・ディスクは両面とも指紋やほこり、傷などをつけないでください。
 - ・ディスクは両面ともラベルを貼ったり、ボールペンや鉛筆などで字を書いたりしないでください。
 - ・曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
 - ・中心の穴を大きくしないでください。
 - ・汚れたり、水滴がついたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側に向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
 - ・シリコンクロスは使用しないでください。
 - ・ヘアードライヤーなどで乾燥させたり自然乾燥させないでください。
 - ・ベンジン、シンナー、レコードスプレー、静電気防止剤などで拭かないでください。
 - ・コーヒーなどの液体がかからないようにしてください。
 - ・高温や低温の場所に保管しないでください。
 - ・湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
 - ・使わないときは、ケースに入れて保管してください。
- ▶ 円形以外（星型やカード型などの変形）のディスクはお使いにならないでください。正常に読み出しありや書き込みが行えなかったり、故障の原因となる場合があります。
- ▶ 傷またはヒビの入ったディスクをお使いになると、ドライブ内部で破損する場合があります。
- ▶ ゆがんだディスク、割れたディスク、ヒビの入ったディスクはお使いにならないでください。故障の原因となることがあります。これらのディスクをお使いになり故障した場合は、保証の対象外になります。
- ▶ 市販の CD-ROM クリーニングディスクを使ってクリーニングを行うと、レンズにゴミなどが付着することがあります。CD-ROM クリーニングディスクはお使いにならないでください。
- ▶ 規格外の厚さの DVD 媒体はお使いにならないでください。DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm ~ 1.5mm と規定しています。記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- ▶ コピーコントロール CD については、現状の音楽 CD の規格に準拠していない特殊なディスクのため、本パソコンでの再生および動作保証はできません。コピーコントロール CD のご使用中に不具合が生じた場合は、各コピーコントロール CD の発売元にお問い合わせください。なお、正式な音楽 CD 規格に準拠した CD には、次のようなロゴが表示されています。

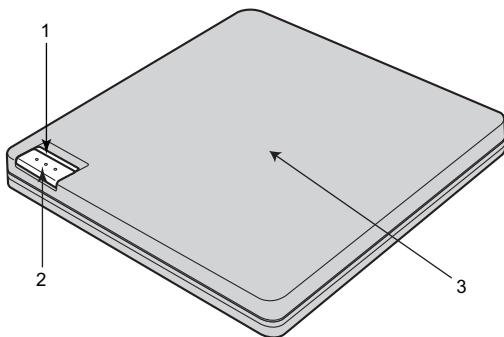


 **POINT**

- ▶ 不正コピー防止の仕様に準拠していないDVDディスクやVideo CDは、正常に再生できない場合があります。
- ▶ DVD-Audio はお使いになれません。

2 各部の名称と働き

■表面



1 インジケーター

- ・緑色点灯：本製品の電源が入っている状態です。
- ・オレンジ色点灯：記録・再生している状態です。
SmoothLink 機能時は一時的に緑色点灯に変化します。

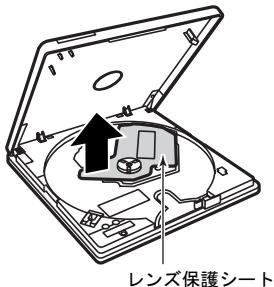
2 オープン

ディスクに記録中はロックされています。

3 ディスクカバー

重要

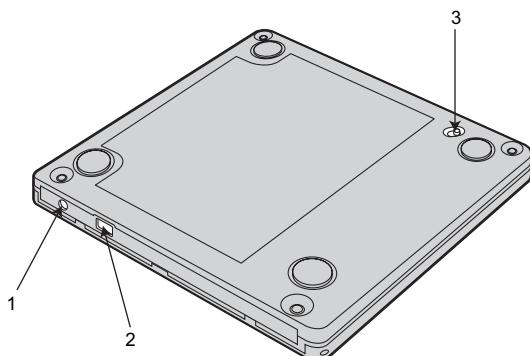
- ▶ディスクカバーを開くには「ディスクのセット／取り出し」(→ P.21)をご覧ください。
- ▶ご使用になる前に必ず本製品のレンズ保護シートを取り外してください。



POINT

- ▶オープンボタンを押したり、記録が終了した場合などに、ディスクカバーのロックが解除されます。続けてご使用になる場合は、ディスクカバーを完全に開いてからディスクカバーを閉じてください。

■ 裏面



- 1** DC 入力端子
- 2** USB コネクタ
- 3** 強制オープンレバー (→ P.23)

3 対応 USB の確認

パソコンが USB2.0 に対応していない場合は、USB1.1 の環境で動作します。USB の規格について、パソコン本体に添付のマニュアルをお確かめください。

POINT

- ▶ USB1.1 インターフェース環境で接続された場合
 - ・書き込みおよび読み込み速度は最大 8 倍速相当となります。
 - ・高倍速記録での CD-R/RW への書き込み、CD-RW の書き換え、DVD-Video の再生は USB2.0 環境でご使用ください。

■ USB2.0 で使用する

□ Windows XP の場合

ドライバは不要です (Windows XP で Service Pack1 未対応の場合は、Windows Update を適用してください)。

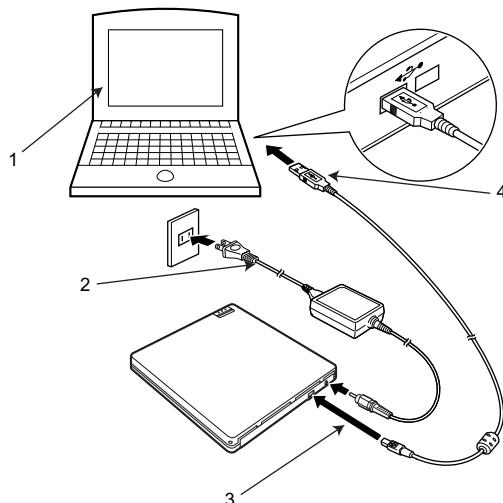
□ Windows 2000 の場合

Windows Update で Service Pack4 を適用した後で UDF リーダをインストールしてください (→ P.27)。

4 パソコン本体への接続

本体と USB ケーブルの接続

接続は確実に行ってください。



- 1 パソコン本体を起動します。
- 2 本製品に AC アダプタを接続します。
- 3 付属の USB ケーブルのコネクタ（小さい方）を、本製品の USB コネクタに差し込みます。
- 4 片方の USB ケーブルのコネクタ（大きい方）をパソコンの USB コネクタに差し込みます。

本製品の電源が自動的に入り、インジケータが緑色に点灯します。

重要

- ▶添付のUSBケーブル以外は使用しないでください(本製品やパソコン本体を損傷するおそれがあります)。
- ▶長時間使用しないときは、節電のためACアダプタを電源コンセントから抜いておいてください。ACアダプタを接続した状態でも、約1Wの電力を消費しています(AC100V時)。
- ▶ACアダプタを電源コンセントに接続する場合は、本製品近くの容易に抜き差しできる電源コンセントをお使いください。
- ▶本製品は、パソコン本体のUSBコネクタに直接接続してください。USBハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。

 **POINT**

- ▶ 本製品の電源は、パソコンの電源に連動して自動的にオン／オフされます。ただし、パソコン本体によっては、パソコン本体の電源を切っても、本製品の電源が切れない場合があります。
- ▶ USB ケーブルを抜き差しすることで、本製品の電源は自動的にオン／オフされます。

USB ケーブルの取り外し

 **重要**

- ▶ USB ケーブルを取り外す前に、書き込みソフトでの記録やデータ・音楽の再生などの作業を終了し、あらかじめ本製品からディスクを取り出してください。

- 1 通知領域（タスクトレイ）の「取り外し」アイコンをクリックします。
メッセージが表示されます。
- 2 表示されたメッセージをクリックします（表示されるメッセージは状況により異なります）。
 - ・ Windows XP の場合
「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します」
 - ・ Windows 2000 の場合
「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します」
- 3 「'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。」と表示されるのを確認して、「閉じる」ボタンまたは「OK」をクリックします。
- 4 USB ケーブルを抜きます。

 **POINT**

- ▶ インジケーターがオレンジ色に点灯中は、USB ケーブルや AC アダプタを抜かないでください。また、スタンバイ／休止状態に移行させないでください。
データ破壊のおそれやパソコンが正常に操作できなくなることがあります。パソコンの操作が正常にできなくなった場合には、パソコン本体を再起動してください。
- ▶ 本製品にディスクが入っている状態では USB ケーブルを抜かないでください。
- ▶ 「DLA」をご使用の場合には、「マイコンピュータ」のドライブを右クリックし、「取り出し」を選択してから USB ケーブルを抜いてください。

5 ディスクのセット／取り出し

本製品は電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

◆重要

- ▶ディスクはデータの読み出しなどの際、高速で回転するため、使用時に振動や風切音がすることがあります。

POINT

- ▶ディスクカバーは、ディスクのセット／取り出しの場合以外は閉めておいてください。ほこりが入り、故障の原因となります。
- ▶レンズに手を触れないでください。故障の原因となります。

ディスクのセット

1 本製品をパソコンに接続します。

本製品の電源は、パソコン本体の電源に連動して自動的にオン／オフされます。

POINT

- ▶パソコン本体の電源の入れ方については、パソコン本体に添付のマニュアルをご覧ください。

2 オープンボタンを押します。

ディスクカバーが少し開きます。

3 ディスクカバーを持ち上げて開きます。

4 ディスクをセットします。

ディスクの中心付近をディスクが固定されるまで指で押さえてはめ込みます。



 **重要**

- ▶ ディスクをきちんととはめ込まないと、ディスクがドライブ内部で外れて、ドライブ内部およびディスクを破損する原因となることがあります。

5 ディスクカバーを閉じます。

 **POINT**

- ▶ オープンボタンを押したり、記録が終了した場合などに、ディスクカバーのロックが解除されます。そのまま続けてご使用いただく場合は、ディスクカバーを一度完全に開いてからディスクカバーを閉じてください。
- ▶ 本製品で使用できるDVD-RAMディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2またはTYPE4のDVD-RAMディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。

ディスクの取り出し

 **重要**

- ▶ ディスクの取り出し操作をする前に、本製品のインジケータがオレンジ色に点灯していないことを確認してください。

 **POINT**

- ▶ データ書き込み中（インジケータがオレンジ色に点灯中）は、ディスクカバーがロックされているため、書き込みが終了するまでディスクカバーを開けることはできません。
- ▶ 「DLA」をご使用の場合には、次の方法で取り出してください。
 1. 「マイコンピュータ」のドライブアイコンを右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「取り出し」を選択します。

1 本製品をパソコンに接続します。

本製品の電源は、パソコン本体の電源に連動して自動的にオン／オフされます。

2 オープンボタンを押します。

ディスクカバーが少し開きます。

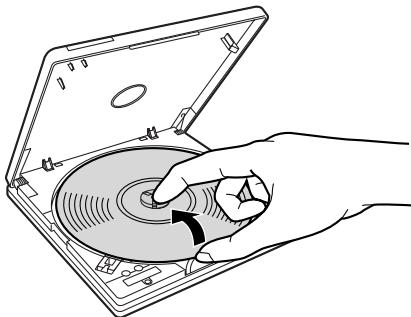
3 ディスクカバーを持ち上げて開きます。

4 ディスクを取り出します。

中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。

POINT

- ▶ 本製品にディスクが入っている場合は、使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択してもディスクカバーを開くことができます。



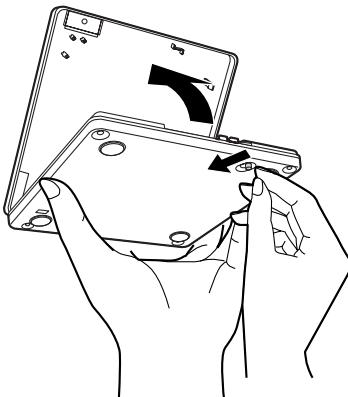
ディスクが取り出せないときは

データ書き込み中の故障や停電などでオープンボタンを押してもディスクカバーが開かない場合は、ディスクカバーロックを強制的に解除し、ディスクカバーを開けることができます。

- 1 本製品裏側の強制オープンレバーをスライドさせます。
ディスクカバーが少し開きます。
- 2 ディスクカバーを持ち上げて開きます。

重要

- ▶ ディスクの回転が止まらないときは、AC アダプタをコンセントから抜いて、完全に回転を止めてください。
回転中にディスクカバーを開けるとディスクが外れて飛び出し、ディスクや本製品を破損したり、けがの原因となる可能性があります。



2

第2章

UDFリーダをインストールする (Windows2000のみ)

1 UDFリーダについて	26
2 UDFリーダをインストールする	27

1 UDF リーダについて

UDF2.0形式でフォーマットされたDVD-RAMディスクをWindows2000で読み込むためには、対応したUDFリーダが必要です。本製品添付のCD-ROMからインストールしてください。

本製品で利用可能なDVD-RAMは、カートリッジから取り出し可能なメディアおよびカートリッジのないメディアで、UDFフォーマットされたものに限ります。

Windows XPでは標準のリーダを使用するので、UDFリーダのインストールは不要です。

重要

- ▶ FAT 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクはご使用できません。
- ▶ UDF1.5 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクは Windows 標準のリーダでご使用になります。

2 UDF リーダをインストールする

本製品添付の UDF リーダは、Windows 2000 用です。Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限 (Administrator) のあるユーザーでログオンしてからインストールしてください。

※重要

- ▶ インストール中に電源が切れないように、パソコンはACアダプタを接続した状態でご使用ください。

1 パソコンに本製品を接続します。

「USB ケーブルの接続」(→ P.19) をご覧ください。

2 添付の CD-ROM を本製品にセットします。

「ディスクを入れる」(→ P.21) をご覧ください。自動で起動しセットアップメニューが表示されます。

POINT

- ▶ 自動的に起動しない場合は、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に以下のように入力すると、セットアップメニューが表示されます。

[CD/DVD ドライブ]:¥Asmenu.exe

3 「UDF リーダ」をクリックします。

4 「インストール」を選択して「OK」をクリックします。

5 「OK」をクリックします。

画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。UDF リーダを有効にするには、パソコンの再起動が必要です。

POINT

- ▶ UDF リーダをアンインストールするには、添付の CD-ROM を挿入して表示されるセットアップメニューで、「アンインストール」をクリックして「OK」をクリックします。

3

第3章

RecordNow を インストールする

1 RecordNow について	30
2 RecordNow をインストールする	31

1 RecordNow について

● RecordNow

CD-R/RW ディスクに、まとめてデータを書き込みます。データのバックアップやデジタル写真のアルバムの作成などに便利です。

あとから追加して書き込むこともできますが、ファイルの更新や削除はできません。

RecordNowは、本製品に添付されているCD-ROMからインストールしてお使いください (→ P.31)。

POINT

▶「RecordNow」は、著作権を持っているか、または著作権者からコピーの許可を得ている材料の再作成を手助けするように設計されています。著作権を所有していないか、または著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反し、損害賠償やその他の刑罰を課せられることがあります。自分の権利について不明な場合は、法律家にご相談ください。

▶RecordNow では、パケットライト機能はご使用になれません。パケットライト機能をご使用になる場合は、パケットライト用アプリケーション「DLA」が必要です。「DLA」は CD-R/RW をフロッピーや MO のように手軽に扱うことができるアプリケーションです。ファイルの更新や削除もできます。

「DLA」は次の方法でインストールしてください。

1. パソコン本体に RecordNow がインストールされていることを確認します。
インストールされていない場合には、DLA のインストールの前に RecordNow をインストールしてください (→ P.31)。
2. パソコン本体をインターネットに接続します。
3. RecordNow を起動します。
4. 「？」ボタン→「Web のテクニカルサポート」の順にクリックします。
サポートの Web ページが表示されます。
5. Web ページ内の「日本語のサポートページはこちら」をクリックします。
6. Web ページ内の「ダウンロード」をクリックします。

この後は、メッセージに従って操作してください。

▶1枚のディスクにRecordNowとDLAを交互に使ったデータの書き込みはできません。どちらかのアプリケーションで書き込みを行ったあとは、同じアプリケーションを使って書き込みを継続してください。

2 RecordNow をインストールする

POINT

▶ RecordNow をインストールする前に、パソコン本体に本製品を取り付けてください (→ P.19)。

インストール

- 添付のソフトウェア CD-ROM を本製品にセットします。
自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

POINT

▶ 自動的に起動しない場合は、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に以下のように入力します。
[CD/DVD ドライブ]:¥Asmenu.exe

- 表示されたセットアップメニューから「RecordNow」をクリックします。
- RecordNow のセットアップウィザードが表示されますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。
- インストールが終了したら「完了」をクリックします。
「readme」が表示されます。
- 「Readme」の内容を確認してから、「Readme」を閉じてください。
- 「ご注意」ウィンドウが表示されたら「はい」をクリックします。パソコン本体が再起動します。

POINT

▶ 「ご注意」ウィンドウが表示されない場合は「スタート」ボタン→「シャットダウン」メニューから「再起動」の順にクリックして再起動します。

RecordNow の使い方

RecordNow の使い方については、「RecordNow! ヘルプ」をご覧ください。

「RecordNow! ヘルプ」を表示するには、「スタート」→「(すべての) プログラム」→「Sonic」→「RecordNow!」→「RecordNow! ヘルプ」の順にクリックします。

CD-R/RW ディスクにデータを書き込む

各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

POINT

- ▶ CD-R/CD-RW ディスクにデータを書き込む場合は、次の点に注意してください。
 - ・パソコン本体は、書き込み中に電源が切れないように AC 電源でお使いください。
 - ・パソコンをスタンバイ状態にしないでください。
書き込みができなくなる場合があります。
 - ・ノートパソコンのディスプレイを閉じないでください。
スタンバイ状態になり、書き込みができなくなる場合があります。

本製品で使用可能な書き込み速度は、次のとおりです。最適な速度でご使用ください。

- ・ CD-R : 最大 24 倍速、最大 16 倍速、8 倍速、4 倍速
- ・ CD-RW : 最大 4 倍速
- ・ High Speed CD-RW : 最大 10 倍速、8 倍速、4 倍速
( のマークが表示されているディスクをご使用ください)
- ・ Ultra Speed CD-RW : 最大 24 倍速、最大 16 倍速、10 倍速
( のマークが表示されたディスクをご使用ください)

POINT

- ▶ 8 倍速以上の書き込みには、USB2.0 または SmoothLink の環境が必要になります。
- ▶ パソコンの性能や使用条件、ご使用のディスクによっては、16 倍速、24 倍速での書き込みができない場合があります。
- ▶ CD-R/RW の推奨品については、「使用できるディスク」(→ P.12) をご覧ください。
- ▶ SmoothLink は通常オンに設定されており、動作時はインジケータの点灯が一時的にオレンジ色から緑色に変化します。

4

第4章

WinDVD をインストールする

ここでは、DVD を再生するためのアプリケーション「WinDVD」のインストール方法を説明します。

1 WinDVD のインストール	34
2 WinDVD の使い方	35
3 再生可能地域コード（リージョンコード）について	37

1 WinDVD のインストール

本製品には DVD 再生ソフトとして、WinDVD が付属していますので、添付の CD-ROM からインストールしてください。

重要

- ▶ ご使用のパソコンに、旧バージョンの WinDVD や他社の DVD 再生ソフトがインストールされている場合は、インストール前に削除してください。
- ▶ 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがある場合は、インストール前に終了してください。
- ▶ 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンして WinDVD をインストールしてください。

1 添付のソフトウェア CD-ROM を本製品にセットします。

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。

POINT

- ▶ 自動的に起動しない場合は、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に以下のように入力します。
[CD/DVD ドライブ]:\Asmenu.exe

2 表示されたセットアップメニューから「WinDVD」をクリックします。

WinDVD のセットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

3 「セットアップの完了」ウィンドウが表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を有効(○)にして、「完了」をクリックします。 パソコン本体が再起動します。

2 WinDVD の使い方

WinDVD を起動する

◆ 重要

- ▶ WinDVDを起動する場合は、「画面のプロパティ」ウィンドウの「設定」タブで「詳細」または「詳細設定」をクリックし、「パフォーマンス」タブまたはトラブルシューティングにある「ハードウェアアクセラレータ」の設定を「最大」にしてください。
- ▶ WinDVDを起動する場合は、RecordNowを終了させてください。
- ▶ 自動的にパソコン本体がスタンバイまたは休止状態にならないように、省電力の設定を変更してください。また、WinDVDの起動中は、パソコン本体をスタンバイまたは休止状態にしないでください。
- ▶ WinDVDを起動中に解像度や色数、表示装置などを変更しないでください。誤動作の原因となります。
- ▶ DVDディスクによっては、正常に再生されなかつたり、画面が乱れたりすることがあります。
- ▶ WinDVDと他の動画再生アプリケーションや画像処理アプリケーションを同時に起動しないでください。
- ▶ WinDVDと他の音声再生アプリケーションを同時に起動しないでください。
- ▶ パソコン本体で仮想スクリーンモードに設定している場合は、WinDVDを起動しないでください。誤動作の原因となります。
- ▶ DVDは、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。WinDVDではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクのマニュアルも必ずご覧ください。

◆ POINT

- ▶ DVD-Video再生ソフトの使用方法については、WinDVDのヘルプをご参照ください。
- ▶ DVD-Videoの再生画質は、ディスクやパソコンの能力、使用条件により変化します。

1 DVDディスクを本製品にセットします。

WinDVDが自動的に起動し、DVDの再生画面が表示されます。

◆ POINT

- ▶ WinDVDが自動的に起動しない場合は、「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「InterVideo WinDVD」→「InterVideo WinDVD」の順にクリックしてください。
- ▶ Windows XPでWinDVDが自動的に起動せず、「Windowsが実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示された場合は「DVDムービーの再生InterVideo WinDVD使用」を選択し、「OK」をクリックしてください。

2 「OK」をクリックします。

DVDの再生画面が表示されます。

 **POINT**

- ▶ DVD の再生直後、数秒間画面が正常に表示されないことがあります。
- ▶ 本製品にDVDディスクを入れたままWindowsを起動した場合、または再度「WinDVD」を起動する場合は、「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「InterVideo WinDVD」→「InterVideo WinDVD」の順にクリックしてください。

WinDVD を終了する

1 操作パネル右上にある「閉じる」をクリックします。

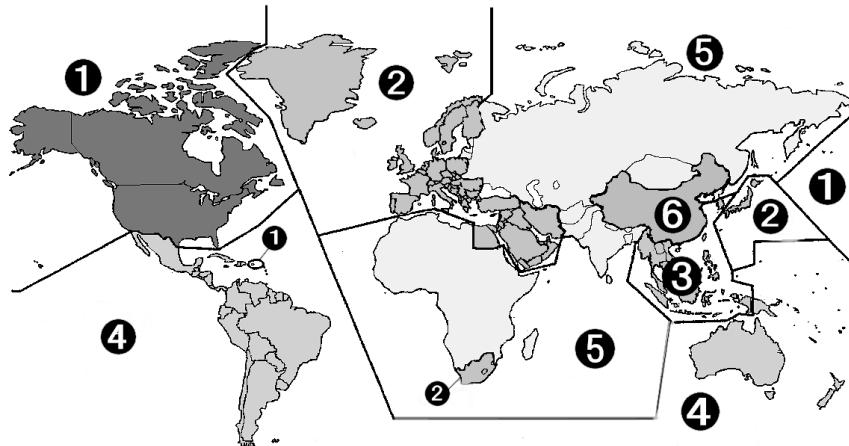
WinDVD が終了します。

 **POINT**

- ▶ 操作パネル／ショートカットメニューの項目の中には、設定を変更できないものがあります。

3 再生可能地域コード（リージョンコード）について

多くの DVD-Video ディスクは、リージョンコードにより保護されています。リージョンコードは、下図のように地域ごとに管理されています。



DVD-Videoを見るためには、下記のリージョンコードが一致している必要があります。

- ・DVD-Video ディスクのリージョンコード
- ・本製品のリージョンコード
- ・再生ソフト (WinDVD) のリージョンコード

異なるリージョンコードの DVD-Video ディスクを再生しようとした場合は、警告画面が表示されます。「OK」をクリックすると、リージョンコードの設定画面が表示されます。設定内容を確認し「OK」をクリックすると、再生ソフト (WinDVD) と、DVD-Video ディスクの再生ドライブ (本製品) は、新しいリージョンコードに設定されます。設定変更を確認し画面を終了すると再生が始まります。

POINT

- ▶ 本製品出荷時のリージョンコードは「2」に設定されています。

変更は合計 5 回まで行なうことが可能ですが、出荷時に 1 回目を使用しますので、変更可能な回数は 4 回までとなります。

5

第5章

付録

1 ドライブの取り扱い	40
2 お手入れについて	42
3 こんなときには	43
4 こんな疑問や質問があつたら	46
5 リサイクルについて	51
6 用語集	52
7 仕様	55

1 ドライブの取り扱い

■ 共通の注意事項

- ・パソコン本体の CD アクセス表示が点灯・点滅中は、振動や衝撃を与えないでください。
- ・磁石のそばや強い磁界を発生する場所での使用・保管は避けてください。
- ・超音波加湿器を使用している場所での使用・保管は避けてください。
- ・腐食性ガスが発生する場所、潮風が当たる場所での使用・保管は避けてください。
- ・直射日光の当たる場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- ・寒い場所から暖かい場所に急に移動させないでください。冷えている本製品を暖かい場所へ急に移すと、レンズに水滴が付き（結露現象）、正しく動作しないことがあります。このような場合は、1 時間ほど待ってから使用してください。
- ・通気性、換気性のよい場所でお使いください。
- ・本製品のインジケーターがオレンジ色点灯中は、振動や衝撃を与えないでください。
- ・本製品のインジケーターがオレンジ色点灯中は、CD を取り出したり、パソコン本体の電源を切らないでください。CD のデータが破壊されたり、本製品の故障の原因となります。
- ・本製品を移動させるときは、必ず CD を取り出してください。CD が入っていると故障の原因となることがあります。

■ 書き込み／書き換え時の注意事項

- ・CD 自動挿入機能（オートラン）が有効に設定されていると、正しく書き込み／書き換えができないアプリケーションがあります。アプリケーションの指示に従って CD 自動挿入機能を設定してください。
- ・書き込み／書き換え中は、パソコン本体の電源を切ったり、再起動したり、本製品の CD 取り出しボタンを押したりしないでください。また、【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】キーを押す操作もしないでください。
- ・書き込み／書き換え中にディスク面に傷などの障害を検出した場合、書き込み／書き換えを中断することがあります。
- ・書き込み／書き換えを行うときは、自動的にスタンバイまたは休止状態にならないように、省電力の設定を変更してください。
- ・書き込み／書き換えには、多くの電力を使用します。パソコン本体に AC アダプタを取り付けてお使いください。
- ・書き込み／書き換え中は、他のアプリケーションを起動しないでください。他のアプリケーションを起動している場合は、そのアプリケーションを終了させてください。
- ・DLAをインストールしていない場合、CD-RWディスクに書き込んだデータを削除するには、ディスクに書き込まれているデータをすべて消去する必要があります。データの一部分のみを削除することはできません。

■ DVD-Video 再生時の注意事項

- ・再生する DVD-Video によっては、コマ落ちをする場合があります。

- ・DVD-Video の再生中に他のアプリケーションを起動すると、コマ落ち／音飛びする場合があります。コマ落ち／音飛びを防ぐために、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
なお、ウィルス対策ソフトやディスクユーティリティ、データベース更新など定期的に自動起動して処理を行うソフトウェアについても、その頻度により音や映像の再生に影響が出ますので、必要に応じて終了してください。
- ・DVD-Video および Video CD によっては、再生される映像データが表示エリア全体に表示されないものがあります。この場合は、表示の一部が黒くなります。
- ・映像フォーマットが MPEG1 の場合、データによっては再生できないものがあります。
- ・ディスクの種類によっては、専用の再生ソフトが添付されている場合があります。これらのディスクに添付の再生ソフトをインストールした場合、WinDVD での再生は保証いたしかねます。
また、ディスクに添付されている再生ソフトの本製品での動作についても、弊社では保証いたしかねますのでご了承ください。
- ・リージョンコードの変更は 4 回までです。
リージョンコードを 4 回変更すると、最後に設定したリージョンコードに固定され、その他のリージョンコードの DVD-Video は再生できなくなります。固定されたリージョンコードを変更する方法はありませんのでご注意ください。
- ・前回再生したDVD-Videoと異なるリージョンコードのDVD-Videoを再生しようとすると、リージョンコード変更を確認するメッセージ画面が表示されます。このメッセージ画面で「OK」をクリックすると、リージョンコードの設定が変更されます。
- ・ご購入時のリージョンコードは「2. 西ヨーロッパ、日本、南アフリカ」です。
- ・DVD-Video によっては、著作権保護のため、コピープロテクトがかかっている場合があります。WinDVD では、著作権保護としてデスクランブル機能および相互認証(Authentication)機能を搭載しており、著作権保護のされたディスクのコピーを再生しても、相互認証エラー (Authentication Error) となり再生されません (「This DVD can't be played in this Region.」と表示されます)。
- ・WinDVD を起動中はパソコン本体の電源ボタンを押さないでください。
- ・WinDVD の設定を変更した直後は、DVD-Video の再生が不安定になる場合があります。
- ・キャプション表示とサブタイトル表示を、同時に表示することはできません。
- ・マウスカーソルのデザインによっては、DVD 再生画面の上に移動したときにマウスカーソルが点滅することがあります。このような時は、「マウスのプロパティ」の「ポインタ」タブで、「デザイン」の設定を「なし」に変更してください。
- ・縦横比が 16:9 で録画されている DVD-Video をフルスクリーン表示させた場合、ズーム機能が使用できないことがあります。
- ・マルチモニタを設定している場合、DVD-Video の再生画面をプライマリ側からセカンダリ側に移動しないでください。誤動作の原因となります。
- ・本製品を使用する場合は、AC アダプタを使用してください。バッテリで運用すると、バッテリの寿命が短くなる場合があります。
- ・市販されているアンチウィルスソフトと WinDVD を同時に起動することはできません。自動検索の機能を持つアンチウィルスソフトに関しては、WinDVD を起動する場合は、一時的に無効化してください。なお、パソコン本体にあらかじめインストールされているアンチウィルスソフトであれば問題ありません。
- ・パソコン本体の液晶ディスプレイと外部ディスプレイとの同時表示時に DVD-Video を再生すると、コマ落ちが発生することがあります。

2 お手入れについて

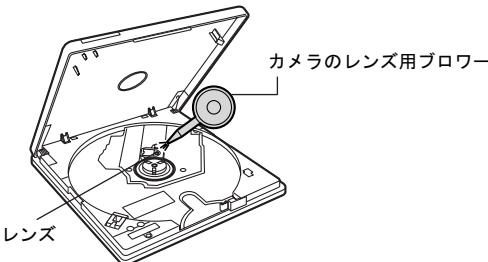
- ・月に1度は、本製品を乾いた柔らかい布で必ず清掃してください。やむをえず環境条件の悪い場所に設置する場合は、週1回以上本製品を清掃してください。



- ・本製品の近くにディスプレイが設置されている場合、ディスプレイの静電気によりほこりが集まりますので、週に1回程度ディスプレイを清掃し、本製品の周りを清潔に保つください。
- ・殺虫剤などがかからないように注意してください。
ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどが付着すると、塗装がはがれたり変色したりすることがあります。表面の汚れは柔らかい布で拭いてください。また、煙霧状の殺虫剤などは光学部品に影響を与えますのでご注意ください。煙霧状殺虫剤などを使用するときは、本製品への影響を避けるため、事前にビニールシートなどで完全に包んでから殺虫剤などを使用してください。
- ・音とびしたり、データが読めなかつたら
- ディスクを柔らかい布で内側から外側へ放射状に軽くふいてください。



- レンズをカメラのレンズ用プロワー (市販品) でお手入れしてください。



- ディスクタイプのレンズクリーナーは故障の原因となる場合がありますので、使用しないでください。

3 こんなときには

正常に動作しない場合は、次のことを確認してください。また、本製品以外の原因も考えられますので、システムとして組み合わされている他の機器も合わせてお調べください。どうしても原因がわからないときは故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→P.50）、またはご購入元に連絡してください。

現象	原因	対処方法
本製品がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	ACアダプタが正しく接続されていますか？	ACアダプタの保護機能が働いている場合があります。ACアダプタをコンセントから抜き、2~3分放置してから再度コンセントに差してください。
	USBケーブルが正しく接続されていますか？	正しく接続されているかご確認ください。（→P.19）
	USBケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？	故障・修理に関するお問い合わせ先（→P.50）、またはご購入元にご連絡ください。
	正常にUSBケーブルの取り外しをしましたか？	「USBケーブルの取り外し」（→P.20）の手順通りに行わない場合は、ドライブのアイコンが表示されない場合があります。パソコンを再起動してください。
	対応するWindowsをお使いですか？	本製品はWindowsXP/2000で動作します。Windows2000ではUDFリーダーが必要になりますので、添付CD-ROMからインストールしてください。
	ドライバが正しくインストールされていますか？	デバイスマネージャでドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。「DVD/CD-ROMドライブ」の項目に「GENERIC CDRCB05 USB devise」、「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の項目に「USB大容量記憶装置デバイス」と表示されていることを確認してください。
	CD仮想化ソフト(Virtual CDなど)がインストールされていますか？	CD仮想化ソフトがインストールされている場合は、本製品が正常に認識されないことがあります。その場合は、本製品を接続したままパソコン本体を再起動してください。詳しくは、CD仮想化ソフトのマニュアルをご覧ください。

DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット (FMV-NCB52)

現象	原因	対処方法
DVD-RAM が認識されない	UDF 形式でフォーマットされたディスクを使っていませんか？	DVD レコーダーなどで UDF2.0 形式にフォーマットされたディスク、または DVD-RAM ドライブで UDF1.5 または UDF2.0 形式にフォーマットされたディスクをお使いください。
	UDF リーダをインストールしましたか？	本製品のセットアップを実行し、「UDF リーダをインストールする」(→ P.27)をご覧ください (Windows 2000 の場合)。
	ディスクが汚れたり傷ついたりしていませんか？	ディスクが汚れたり傷ついたりすると、読み込みができない場合があります。「お手入れについて」(→ P.42)をご覧になりディスクをきれいにふいてください。
DVD-R/RW、DVD+R/+R DL/+RW が認識されない	ご使用の DVD ディスク (メディア) の形式や書き込み方式は正しいですか？	本製品で使用できるディスク (メディア) 記録方式は、「使用できるディスク」(→ P.12) をご覧ください。
ディスクが取り出せない (ディスクカバーが開かない)	ドライブが動作していませんか？	CD-R/RW ディスクにデータ書き込み中はオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。書き込みが終了するをお待ちください。 「DLA」をご使用の場合には、「マイコンピュータ」のドライブアイコンを右クリックし、「取り出し」を選択してください (→ P.22)。 ディスクの「取り出し」を選択してもディスクカバーが開かない場合は、強制オープンレバーを操作してください (→ P.23)。
本製品、AC アダプタなどが温かい	故障ではありません。	異常に高温になる場合は、AC アダプタを外し、故障・修理に関するお問合せ先 (→ P.50)、またはご購入元にご連絡ください。
正常な書き込みができない	Windows XP は正しく設定されていますか？	Windows XPをお使いの場合は、Windows XPの書き込み機能を使用しない設定にしてください。

現象	原因	対処方法
音とびしたり、データが読み書きできない	ディスクに傷や汚れがありませんか？	本製品に異常がないことを確認するために、別のディスクに取り替えてみてください。
	本製品やディスクが結露していないませんか？	ディスクを取り出して約1時間ほど放置してください。
	ゴミが本製品のターンテーブルの上に付着していませんか？	「お手入れについて」(→P.42)をご覧になり清掃してください。
	本製品対応のディスクを使用していますか？	「使用できるディスク」(→P.12)をご覧になり、お使いのディスクをご確認ください。
	ディスクまたは本製品のレンズが汚れていませんか？	「お手入れについて」(→P.42)をご覧になり清掃してください。
	ラベル面を上にして、ディスクを入れていますか？	「ディスクのセット／取り出し」(→P.21)をご覧になり、ディスクの向きをご確認ください。
音が聞こえない	パソコン本体の音楽CD再生ソフトを使って本製品で音楽CDを再生する場合、デジタル再生が「有効」に設定されていますか？	デジタル再生を「有効」に設定してお使いください。
	パソコン本体側の音量ボリュームを下げすぎていませんか？ また、音量ボリュームの設定が「ミュート」になつていませんか？	パソコン本体側の音量ボリュームを調整してください。

4 こんな疑問や質問があったら

本製品についての疑問は、「こんなときには」を先にご覧ください。(→ P.43)

■書き込みについて

現象	解決方法
パソコン本体に複数の書き込みソフトをインストールしたままで書き込みできますか？	<p>次の場合、正常に書き込みできないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の書き込みソフトが同時に起動されている。(常駐するタイプの書き込みソフト含む) バージョンの違う書き込みソフトがインストールされている。
書き込み途中で失敗してしまうのですが、どうしたらいいですか？	<p>SmoothLink 機能が動作していない可能性があります。書き込みソフトの SmoothLink 機能が「ON」に設定されているかご確認ください。また下記内容もご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> スタンバイ／レジューム機能が働かないようにする。 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。 <p>SmoothLink 機能を使用しない場合は、CD-R/RW ディスクへ書き込むためのデータがパソコン本体から送られてくる際、データが途中で途切れたりすると書き込みが失敗してしまいます。これを防ぐには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク接続を行わない。 スクリーンセーバーを使用しない。 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。 アクティブデスクトップを使用しない。 スタンバイ／レジューム機能が動作しない設定にする。 ハードディスクのフラグメンテーションを解消する。 書き込み速度を変える（低速にする）。 <p>実際に書き込みを行う前に、書き込みソフトで「テスト書き込み」を行ってください。</p>
書き込みに失敗するのですが？	<p>本製品の推奨ディスクをご使用ください。またご使用のディスクと書き込み速度をお確かめください。</p> <ul style="list-style-type: none"> CD-RW で 4 倍速を超える速度で書き込みを行うには High Speed 対応のディスクをお使いください。 8 倍速を超える速度で書き込みを行うには Ultra Speed 対応の CD-RW が必要です。 <p>書き込みソフトで設定した書き込み速度に対応したディスクをご使用ください。</p>

現象	解決方法
書き込む前と後ではデータのサイズが違うのですが？	CD-R/RW ディスクとハードディスクなどのセクタサイズが違うことが原因です。そのため、CD-R/RW に書き込んだときは、ハードディスクに格納されたデータサイズより大きくなります。また、書き込みモードによっては、書き込むデータのほかに情報エリア分の領域も使用します。
オリジナルのベスト版音楽 CD を作成したいのですが？	それぞれの音楽 CD から wave ファイルとしてハードディスクに取り込み、添付の書き込みソフトを使って書き込みます。詳しくは、添付の書き込みソフトのマニュアルをご覧ください。
複数の CD-R/RW ドライブ、または複数の書き込みソフトを使用して追記できますか？	同じドライブ、同じソフトで書き込むようにしてください。追記する前のデータが読み込めなくなったり、本製品およびその他のドライブでデータの読み込み／書き込みが正常にできなくなる場合があります。
USB ハブ経由で接続して書き込むと、正常に書き込めないのですが？	パソコン本体の USB コネクタに直接接続してください。USB ハブ経由での接続では、正常に書き込めない場合があります。
パソコン本体の BIOS 設定を変更する必要がありますか？	BIOS 設定で USB2.0/1.1 の機能を切り換えるタイプのパソコンの場合、USB2.0 に切り換えてください。ノートパソコン、デスクトップパソコンに関係なく行う必要があります。また、パソコンによってはユーティリティソフトで設定を変更するものがあります。詳しくは、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。
書き込んだ音楽データ (CD-DA 形式) を再生するとノイズが発生するのですが？	パソコン本体内蔵の CD-ROM ドライブでは、音楽データ (CD-DA 形式) などを高速読み出しできないものがあります。
パソコン本体内蔵 CD-ROM から 8 倍速、6 倍速、4 倍速でのオンザフライ書き込みができません。	<ul style="list-style-type: none"> 本製品を使用して、パソコン本体のハードディスクドライブにデータを取り込んでから、書き込みを行ってください。詳しくは、書き込みソフトのマニュアルをご覧ください。 書き込みソフトの SmoothLink 機能が「ON」に設定されているかご確認ください(インストール直後は「ON」に設定されています)。

■読み込みについて

疑問	解決方法
最高速で再生できないのですが？	デバイスマネージャを確認して、ドライバがUSB2.0に正しく組み込まれているか確認してください（状況によって表示が異なる場合があります）。 <ul style="list-style-type: none"> USB2.0 の場合 通常 Enhanced Host Controller に接続されます。 USB1.1 の場合 通常 Universal Host Controller または Open Host Controller に接続されます。
最高速で読み込めないのですが？	ディスクによっては最高速で読み込めないものもあります。また、規格外 CD の場合は最高速では読み込めない場合があります。
本製品で書き込んだ CD-R/RW ディスクは、他のドライブでも読み込めますか？	マルチリードに対応したドライブをご利用ください。一部の CD-ROM ドライブでは、読み込めない場合があります。
他のドライブで書き込まれた CD-R/RW は読み込めますか？	通常は読み込めます。ただし複数のドライブで書き込まれたものは、読み込めない場合があります。また、一部のドライブによって書き込まれたディスクは読み込めない場合があります。
音楽データ（CD-DA 形式）をパソコン側に取り込みたいのですが？	<ul style="list-style-type: none"> 添付の書き込みソフトを使用してデータの取り込みを行ってください。音楽 CD のアイコンをドラッグしてもハードディスクなどには取り込めません。 本製品はコピープロテクト（コピーコントロール）された CD からのデータの取り込みには対応していません。

■その他

疑問	解決方法
添付されていない書き込みソフトを使うと、ドライブが認識されません。	書き込みソフトが本製品に対応していないとご使用になれません。添付のソフトをご使用ください。
縦置きで使用できますか？	縦置きでの動作は保証されていません。故障の原因となる場合があります。水平に設置された状態でご使用ください。

■ DVD-Video 再生について

疑問	解決方法
DVD-Video が再生できない	<p>DVD-Video 再生ソフトのマニュアルやヘルプ、および下記についてご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数のドライブが接続されている場合は、本製品が選択されていない場合があります。 DVD-Video と本製品および再生ソフトのリージョンコードが合っていないと再生できません。リージョンコードが合っているかご確認ください。
	<p>DVD の記録方式によっては、自動再生できない場合があります。下記の方法でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに WinDVD を起動してから本製品にディスクをセットしてください。 WinDVD の再生メニューからファイルを選択して再生してください。
DVD-Video の音や画像が正常に再生できない	<p>DVD-Video をスムーズに再生するには、パソコンのシステム能力が要求されます。DVD-Video 再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> インターフェースが USB1.1 の場合、画像や音声が途切れことがあります。USB2.0 でお使いください。 他のアプリケーションを起動していたら終了してください。多くのアプリケーションを起動すると、CPU 能力が不足する場合があります。 ディスプレイの表示領域や色の設定を変更してください。表示領域や表示色を少なくすると、CPU 能力を有効に使用できます。 CPU のスピード設定をご確認ください。パソコンによっては、CPU 能力の低い省電力モードに設定されている場合があります。 音声がミュートに設定されていないかご確認ください。

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

* 故障・修理に関するお問い合わせ先

[法人のお客様]

■ 「富士通ハードウェア修理相談センター」

- フリーダイヤル 0120-422-297

- お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日および年末年始を除く)

[個人のお客様]

■ 「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- フリーダイヤル 0120-950-222

- お問合せ時間 24 時間、365 日対応

* 技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

■ 「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- フリーダイヤル 0120-950-222

- お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日を除く)

・ おかげ間違いのないよう、ご注意ください。

・ 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。

・ お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

・ システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていた
だく場合があります。

5 リサイクルについて

■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けています。

- ・法人、企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通リサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

詳しくは、ホームページ (<http://eco.fujitsu.com/jp/5g/products/recycleindex.html>) の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。

- ・個人のお客様へ

個人のお客様は、上記「富士通リサイクル受付センター」をご利用いただけません。本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申込みください。

受付窓口の電話番号、お申込み方法などについては AzbyClub ホームページ (<http://azby.fmworld.net/recycle/>) をご覧ください。

■ 富士通リサイクルシステムについて

弊社では1998年より、法人・企業のお客様から廃棄される製品を「富士通リサイクルシステム」（有料）にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。

詳しくは、ホームページ (<http://eco.fujitsu.com/jp/5g/products/recycleindex.html>) の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。

なお、「富士通パソコンリサイクル受付センター」は、個人のお客様専用受付窓口のため、ご利用いただけませんのでご注意ください。

6 用語集

BIOS (バイオス)	正式名は Basic Input Output System で、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどのディスクドライブ、キーボードなどパソコンのハードウェアを動かすために必要となる最も基本的なソフトウェアです。通常はパソコン本体内蔵されています。
CD Extra	音楽 CD のデータの他に、CD-ROM のデータが記録された CD のことです。特に内周側を通常の音楽 CD、それより外周側を CD-ROM として使用しているものの呼称です。
	
CD-R	正式名は Compact Disc Recordable で、一度だけ書き込み可能なコンパクトディスクです。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。書き込みモードによっては、空き領域に追記が可能です。
CD-RW	正式名は Compact Disc ReWritable で、書き込んだデータ全体または最後のセッションを消去できるため、何度も書き込みや書き換えが可能です。
Disc at once (ディスクアットワンス)	CD 全体のデータをまとめて作成し、一度に書き込む方法です。追加書き込みはできません。
DVD	正式名は Digital Versatile Disc (デジタル多目的ディスク) で、CD と同じサイズの DVD-ROM は CD-ROM の 7 倍以上のデータ容量を持っています。
DVD-R	DVD フォーラムによって規格化された追記可能な1回記録型の DVD メディアで、「for General (民生用)」と「for Authoring (業務用)」があります。
DVD-RAM	DVD 規格のひとつで、ディスクに繰り返しデータの読み出し/書き込みができるリムーバブルのことです。
DVD-RW	DVD フォーラムによって規格化された繰り返し記録・再生ができる DVD メディアで、「for Data (パソコン用)」と「for Video (録画用)」があります。
DVD-Video (ビデオ)	DVD 仕様のひとつで、映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したものです。音声や字幕の言語、カメラアングルなどを切り替える機能があります。
DVD+R	DVD+RW アライアンスによって策定された追記可能な1回記録型のメディアで、記録できる容量は DVD-R と同じです。

DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット (FMV-NCB52)

DVD+R DL (Double Layer)	DVD+RW アライアンスによって策定された片面で二層の記録層を持った、追記可能な1回記録型のメディアです。DVD+Rの約2倍(8.5GB)の記録容量を持っています。
DVD+RW	+RW アライアンスによって策定された、繰り返し記録・再生ができるメディアです。DVD-RWと同じ記録容量がありますが互換性はありません。データを記録する場合は、フォーマット実行後にデータを記録します。
DVD ビデオレコーディング規格	DVD 規格のひとつで、DVD のディスクにビデオデータを記録する方式のことです。「VR 規格」や「VR フォーマット」とも呼ばれます。
DVD-VR 規格、DVD-VR フォーマット	DVD フォーラムによって規格化されたビデオレコーディング規格で、ビデオデータを記録・編集できます。単に -VR、VR とも呼ばれ、DVD-Video 形式や DVD+VR 形式とは互換性はありません。DVD-RAM や DVD-RW に使用されています。
DVD+VR 形式、DVD+VR フォーマット	DVD+RW アライアンスによって策定されたビデオレコーディング方式で、ビデオデータを記録・編集できます。単に +VR とも呼ばれ、DVD+RW メディアに使用されますが、DVD-VR とは互換性がありません。
High Speed CD-RW	4 倍速から 10 倍速の書き込みに対応した、新しい CD-RW のディスクです。書き込みには、High Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。
Multiborder (マルチボーダー)	CD-R で採用されている「マルチセッション」と同等の機能で、DVD-R で追記を可能にする方式です。
Multisession (マルチセッション)	CD-ROM のフォーマットのひとつです。1枚の CD に複数のセッションが記録されているものを指します。
Packet writing (パケットライティング)	パソコン上でファイルとして扱えるデータをパケットと呼ばれる単位で書き込む方法です。
Photo CD	米国の Eastman Kodak Company により研究開発された技術です。1枚の CD-ROM にたくさんのイメージ画像(写真など)が保存できます。
SmoothLink	松下電器産業株式会社で開発された、「バッファアンダーランエラー(転送速度エラー)」を回避することができる技術です。
Track at once (トラックアットワンス)	ひとつのトラックを、一度に書き込む方法です。CD Extra の作成などに利用されます。
UDF フォーマット	Universal Disk Format の略で、パケットライティングや各種 DVD ディスク (DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW) に採用されているディスクフォーマットです。



DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット (FMV-NCB52)

Ultra Speed CD-RW	8 倍速から 24 倍速の書き込みに対応した、CD-RW のメディアです。書き込みには、Ultra Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。
USB	Universal Serial Bus の略で、各種の周辺機器とパソコン本体を接続するための業界標準規格です。
USB 2.0	USB 2.0 は、USB-IF (USB Implementers Forum) によって制定された、USB1.1/1.0 上位互換の高速な USB インターフェースです。データ転送は最大で USB1.1 の約 40 倍になります。
インストール	一般に、デバイスドライバなどのソフトウェアをパソコン本体のシステムに登録する作業をいいます。
オンザフライ方式	データをソースファイルから直接読み込んで、CD-R/RW に書き込む方式です。大きなイメージファイルを必要とせず、ハードディスクの空き容量が少なく済みます。ただし、パソコン本体の内蔵 CD-ROM ドライブにソースファイルがある場合には、書き込みが間に合わず、エラーが発生する場合があります。
再生可能地域コード (リージョンコード)	DVD-Videoを再生できる地域を管理するためのコードです。日本のコードは「2」です。 (→ P.37)
バッファアンダーラン、 バッファアンダーランエラー	CD-R/RW ドライブのバッファメモリ内のデータを書き込み中に、瞬間に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう現象で、書き込みエラーとなります。
物理フォーマット	ディスク定義情報や欠陥管理情報の記録を行い、セクタ(ディスクでデータを管理する単位) レベルでのアクセスを可能にする動作のことです。
ホットプラグ	周辺機器をパソコン本体の電源が入った状態で抜き差しする操作をいいます。
論理フォーマット	初期化 (イニシャライズ) とも呼びます。DVD-RAM がパソコンで記録・再生できるよう、システムの各種管理情報をディスクに記録することです。



7 仕様

使用環境	温度 5 °C～35 °C、湿度 20%～80% (結露なきこと)
保存環境	温度 -20 °C～55 °C、湿度 15%～85% (結露なきこと)
本体外形寸法	W135 × D136 × H15mm
本体質量	約 280 g
電源	AC アダプタ (UJDB360PS2) AC 100 - 240 V、50/60 Hz
消費電力データ (AC 100 V 時)	転送時：約 10 W AC アダプタ：約 1 W
対応インターフェース	USB2.0 および USB1.1
専用 USB ケーブル	ケーブルの長さ：約 0.5 m (コネクタを含む) 質量：約 30 g
バッファ容量	2MB
再生対応ディスク ^{注2}	CD-DA (音楽 CD) CD TEXT CD-EXTRA CD-ROM (Mode 1、Mode 2 Form 1) CD-ROM XA (Mode 2 Form 2) Photo CD ^{注1} (マルチセッション対応) Video CD
記録・再生対応ディスク	DVD-RAM ^{注3} 両面：9.4/5.2/2.8GB 片面：4.7/2.6/1.4 GB DVD-R (for General、Ver 2.0) : 4.7/1.4GB DVD-RW(Ver1.2/1.1) : 4.7GB DVD+R (Ver1.2/1.1/1.0) 4.7GB DVD+R DL (Ver1.0) 8.5GB DVD+RW (Ver1.2/1.1) 4.7GB DVD-ROM、DVD-Video
リージョンコード設定	出荷時設定：2 (日本地域に設定) 設定変更回数：4 回 (4 回目以降は変更不可)
シークタイム (自社測定 ソフトによる)	DVD-ROM : 180ms CD-ROM : 130ms

連続データ転送速度 ^{注4} 1 倍速の転送レート (USB 2.0 の場合) DVD メディア: 1350 KB/s CD メディア: 150 KB/s	DVD-RAM: 4.7GB (2 倍速、再生時) / 2.6GB (1 倍速、再生時)
	DVD-ROM (Single): 最大 8 倍速 (再生時)
	DVD-ROM (Dual): 最大 6 倍速 (再生時)
	DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW: 最大 4 倍速 (再生時)
	CD-R: 最大 24/ 最大 16/8/4 倍速 (記録時)、最大 24 倍速 (再生時)
	CD-RW: 最大 24/ 最大 16/10/8/4 倍速 (記録時)、最大 24 倍速 (再生時)
	CD-ROM: 最大 24 倍速 (再生時)
	CD-DA: 最大 20 倍速 (再生時)

注 1: Photo CD 使用時には市販の再生ソフトが必要です。

注 2: ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。両面ディスクは、同時に両面の再生はできません。DVD-RAM/R/-RW/+R/+R DL/+RW への記録には対応していません。

注 3: カートリッジ形式のディスクは、TYPE2、TYPE4 のディスク取り出しができるものに限ります。

注 4: データ転送速度はパソコンの性能に依存して低下する場合があります。

■ システムの必要条件

対応パソコン ^{注1}	FMV-ESPRIMO、FMV-LIFEBOOK
対応 OS	WindowsXP/2000

□ 映像系アプリケーション (DVD-Video 再生ソフト) 使用時

CPU	Celeron400MHz 以上 (Pentium III 700MHz 以上を推奨)
メモリ	128MB 以上を推奨
ハードディスク空き容量	20MB 以上
グラフィック環境	16 ビット解像度、SVGA 表示、Direct X 対応 (Direct X 8.1 以降)

□ データ系アプリケーション (書き込みソフト) 使用時

CPU	450MHz 以上
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量 ^{注2}	インストール用 30MB 以上、記録用 700MB 以上

注 1: いずれも、USB ポートを搭載した機種に限ります。

USB2.0 でお使いいただくには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。パソコンが USB2.0 に対応していない場合、本製品は USB1.1 環境で動作します。

注 2: 安定した書き込みを行うために、連続した領域を確保してください。

**FMV-ESPRIMO FMV-LIFEBOOK
DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット
(FMV-NCB52)
取扱説明書**

B5FY-5971-01-00

発行日 2005年9月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。